

基本目標1 豊かな心と生きる力を育む人づくり

(A:計画通りに実行/B:一部実行/C実行していない)

(1:現状維持/2:拡大/3:縮小/4:廃止/5:その他)

事業No.	主要な施策・事業	施策・事業の内容	担当課	平成27年度取組内容（実績）や課題等		今後の実施内容（予定）や方向性等	
1	人権保育・教育の推進	一人ひとりの子どもの個性や発達段階での課題に対応し、子どもの人権を尊重した保育・教育を推進するとともに、子どもが命の大切さやお互いを認め合えるような人権保育・人権教育を進めます。	こども未来室	A	人権保育の充実を図るための研修を行い、各保育園で公開保育を実施し、一人一人の子どもに配慮した保育計画、保育内容を計画し実施した。	1	一人一人の子どもの個性や発達段階での課題に対応し、子どもの人権を尊重した保育・教育を推進するとともに、子どもが命の大切さやお互いを認め合えるような人権保育・人権教育を進めている。今後共引き続き取り組んでいく。
		中学校区において、幼少期からの連携を意識した人権教育の取組を推進するとともに、特別支援教育に関わる支援をより一層推進します。	教育委員会指導室	A	学校・園、地域の特性及び幼児・児童・生徒の実態に応じた人権教育推進計画等の作成人権教育のための研修の実施。	1	中学校区で幼少期からの連携を意識した人権教育の取組みを推進する。また、学校訪問や巡回指導をとおして、特別支援教育に関わる支援をより一層推進する。
2	情操教育、体験学習の推進	子どもの豊かな感性や創造力を養うとともに、社会性や主体性を育めるように、保育所、幼稚園、認定こども園において、情操教育や体験学習を進めます。	こども未来室	A	豊かな感性や創造力を養い、社会性や主体性が育める体験や経験を計画し実施した。	1	子どもの豊かな感性や創造力を養うとともに、社会性や主体性を育めるように、情操教育や体験学習を進める。
			教育委員会指導室		平成27年度からこども未来室へ業務移管。		
3	地域との交流の推進	地域との連携を図り、心身共にたくましく思いやりの心を育めるように、いろいろな活動を通して共に活動することで地域を知り、お互いを尊重し合える関係づくりを進めます。	こども未来室	A	地域との連携を図り、心身ともにたくましく思いやりの心を育めるようにいろいろな活動を通して共に活動することで地域を知り、お互いを尊重し合える様な交流等を実施した。	1	各園や地域の特色に応じて取り組みを実施した。今後も地域とのつながりを大切に活動をおこなっていく。
4	家庭との連携強化	心身共に調和のとれた発達を促し、思いやりの心をもった豊かな人間性を育めるように、保育所や幼稚園、認定こども園と家庭との連携強化を進めます。	こども未来室	A	心身共に調和のとれた発達を促し、思いやりの心をもった豊かな人間性を育めるように、保育所と家庭との連携強化を進めた。	1	家庭との連携は、子どもたちの育ちの中でとても大切である。今後も保育所・幼稚園と家庭との連携強化を進める。
			教育委員会指導室		平成27年度からこども未来室へ業務移管。		

基本目標1 豊かな心と生きる力を育む人づくり

(A:計画通りに実行/B:一部実行/C実行していない)

(1:現状維持/2:拡大/3:縮小/4:廃止/5:その他)

事業No.	主要な施策・事業	施策・事業の内容	担当課	平成27年度取組内容(実績)や課題等	今後の実施内容(予定)や方向性等
5	職員研修の充実	時代のニーズに応じた各種研修の充実とともに、研修を通じて幼・保・小・中の連携を推進します。	こども未来室	A 職員の質の向上のため、管理職研修、園長研修、副園長研修、保育士研修、教職員研修、看護師研修、栄養士・調理員研修、用務員研修等を実施した。	1 各職種の質の向上のために引き続き、研修の充実に努める。
			教育委員会指導室	A 各中学校区において小中一貫教育について「わくわく研修日」を設定。小中一貫教育の推進を図る。保幼小間においても連携会議を持ち、校種間の段差解消に努めた。和泉市夏季一括募集研修「子どもをみる力の育成」研修をはじめ各種研修を実施。	2 小中一貫教育の更なる推進のため、小中一貫教育コーディネーター・アドバンスリーダー研修を新たに実施。今後も時代のニーズに応じた研修を実施。
			教育センター	A 各種研修会の充実と小中一貫教育について研修を通して推進した。和泉市夏季一括募集研修「子どもをみる力の育成」研修をはじめとする各種教員研修を実施	2 研修を通じた幼・保・小・中の連携の推進。 時代のニーズに応じた各種研修を充実させ主体的に学び続ける教員の養成をはかる。
6	保育所の適正配置	待機児童解消と保育ニーズに対応するため、各施設の定員増や認定こども園への移行促進、小規模保育事業の適正な実施に努めます。(第5章参照)また、公立保育所については、園児数の推移、地域の保育の需給状況、施設の老朽化の状況等を踏まえた上で、民営化や統廃合を検討します。なお、民営化にあたっては、大阪府下並みの公立と民間保育所比率をめざすものとし	こども未来室	A 平成27年度から28年度にかけて、民間園において認定こども園への移行や施設整備等を行い、保育定員を151人増加しました。また、平成28年4月池田下町に小規模保育事業所「みのり小規模保育園」を開園しました。	1 今後も、待機児童解消と保育ニーズに対応するため、実施可能な施策を検討していきます。また、公立保育所のあり方についても検討していきます。

基本目標1 豊かな心と生きる力を育む人づくり

(A:計画通りに実行/B:一部実行/C実行していない)

(1:現状維持/2:拡大/3:縮小/4:廃止/5:その他)

事業No.	主要な施策・事業	施策・事業の内容	担当課	平成27年度取組内容（実績）や課題等	今後の実施内容（予定）や方向性等
7	公立幼稚園の適正配置	公立幼稚園については、園児数の推移、集団教育や行財政上の効率の観点、施設の老朽化等を踏まえた上で、統廃合や定員の見直し等を検討します。	教育委員会総務課 教育委員会指導室 →こども未来室	A 和泉市立幸幼稚園について、平成26年度から和泉市幼児教育振興審議会に廃園についての諮問がなされていましたが、27年度に出た答申結果を踏まえ、同園は28年度から廃園となりました。また平成27年度には公立幼稚園の今後の運営のあり方について、こども・子育て会議幼児教育保育部会に諮問し、その答申結果を踏まえ、平成29年度以降の公立幼稚園の定員の見直しを行いました。	1 今後も、園児数の推移、集団教育や行財政上の効率の観点、施設の老朽化等を踏まえた上で、公立幼稚園をどうしていくかを検討していきます。
8	保育所、幼稚園の施設・設備の整備・充実	園児が安全で快適に過ごせるように、各施設での老朽箇所の改修やバリアフリー※化を進めます。	こども未来室 教育委員会総務課	A 各園で必要に応じ老朽箇所の改修を行いました。 平成27年度からこども未来室へ業務移管。	1 今後も必要な改修やバリアフリー化を進めます。
9	人権教育の推進	人権教育推進のための各種研修の充実を図るとともに、居住地校交流の推進を図ります。	教育委員会指導室	A 人権教育推進のための各種研修の実施。 小中学校と支援学級・支援学校・福祉施設等との交流を実施。支援学校との居住地校交流や共同学習を実施した。	1 各種研修の充実を図るとともに、居住地校交流や共同学習等の交流の一層の推進を図る。
10	学力の向上	確かな学力の定着のため、習熟度別指導など個に応じた指導の充実を図ります。また、学力向上に関する研修会等の充実により、学校全体としての授業改善を推進します。	教育委員会指導室	A 確かな学力向上のため、指導改善加配教員を活用し、習熟度別指導など個に応じた指導を実施。 学力向上担当者会の実施。 学力向上サポーターを活用し、放課後学習会の推進。	2 指導改善加配教員を効果的に活用し、習熟度別指導など個に応じた指導を充実させる。 学力向上に関する研修等を充実させる。 学力向上サポーターの活用を推進し、放課後学習会等を推進する。

基本目標1 豊かな心と生きる力を育む人づくり

(A:計画通りに実行/B:一部実行/C実行していない)

(1:現状維持/2:拡大/3:縮小/4:廃止/5:その他)

事業No.	主要な施策・事業	施策・事業の内容	担当課	平成27年度取組内容（実績）や課題等		今後の実施内容（予定）や方向性等	
11	基本的な生活習慣の確立、規範意識の育成	SSWの活用等を通して、要支援家庭に対する支援を推進し、さらなる充実を図ります。また、道徳教育を通して、規範意識の育成を推進します。	教育委員会指導室	A	前年度より活動時数を増やし、年々増加傾向にある要支援家庭に、関係機関と連携し、丁寧に対応できるようにした。	2	SSWの人員を増加し、活動時間数の増加も含め、今後も増加するであろう要支援家庭に対する支援を推進する。また、学校と関係機関の連携強化を図る。
12	情報化や国際化への対応	正しい情報活用能力と健全な情報モラルの育成に取り組むとともに、外国語指導助手の活用による英語指導の充実や国際理解教育を推進します。また、海外帰国渡日児童・生徒のサポートの充実を図ります。	教育センター	A	情報コーディネーター（ICT教育支援員）を各小・中学校に派遣し、ICT機器を活用した授業や指導の準備・教材研究など、ICT活用方法の指導助言を行った。	1	定期的にICT教育支援員を小・中学校に派遣し、教員へのサポートを行うことにより、教材研究・指導の準備や授業におけるICT機器の活用を活発にする。
			教育委員会指導室	A	外国語指導助手を13名配置し、英語合宿やスキットコンテストなどを活用し、全小中学校での英語・外国語活動の充実を図った。帰国渡日児童生徒をサポートする語学指導員の派遣を実施した。	2	13名の外国語指導助手を活用する中で、小中で一貫した英語教育が実施できるよう配置の改善を図る。サポートの必要な児童生徒及び保護者の増加に対応するため、支援体制の充実を図る。
13	キャリア教育*の推進	職場体験学習やキャリア教育の充実（校種間・地域との連携の推進、幼・保とも連携し、小・中学校9年間を見通した全体指導計画の作成）を図ります。	教育委員会指導室	A	中学校における職場体験学習等の活動に対する情報提供を行うとともに、関係団体・機関へ協力を要請した。中学校区のキャリア教育全体指導計画を活用した。	1	職場体験学習を通じてさらに地域連携を深める。キャリア教育全体指導計画の見直し・改善を進める。
14	地域・ふるさと学習の推進	社会科副読本の内容の充実を図り、郷土を愛する心の育成を推進します。	教育委員会指導室	A	平成28・29年度に使用する小学校3年生の社会科副読本の改訂を実施。中学校社会科副読本を作成。社会科の学習で活用し、和泉市の理解を深めた。	1	社会科の授業において、社会科副読本を活用し、郷土を愛する心の育成を推進する。

基本目標1 豊かな心と生きる力を育む人づくり

(A:計画通りに実行/B:一部実行/C実行していない)

(1:現状維持/2:拡大/3:縮小/4:廃止/5:その他)

事業No.	主要な施策・事業	施策・事業の内容	担当課	平成27年度取組内容（実績）や課題等		今後の実施内容（予定）や方向性等	
15	地域資源の活用	子どもが豊かな体験や人との出会いを通して、社会性や自主性を育むとともに、心身共に健やかに成長できるように、新たな地域人材の発掘と積極的な活用を推進します。	教育委員会指導室	A	地域人材による授業や放課後の学習支援や地域学習、見守り活動などを通して地域の方と子どもたちとの出会いの場を設定することができた。	1	さらに地域人材の発掘を推進し、新規の人材開拓のために、地域でのイベントや講演会を通じ、啓発活動を行う。
		食農教育については、全校で実施できるように、森林ボランティア活動により森づくり活動を推進し、森林の保全に努めます。	農林課	A	育てて食べよう野菜バリバリ推進事業 学校教育田 森林ボランティア活動	1	地産地消への意識の醸成。食の安心・安全への関心の高まり、食に関する知識・食を選択する力の習得を勉強する。 森林ボランティア活動により森づくり活動を推進し、森林の保全に努める。
16	地域との交流	地域教育協議会により、地域の人々との交流の場の確保を図るとともに、地域との交流をさらに推進し、地域による教育力の向上を図ります。	教育委員会指導室	A	地域教育協議会を中心に、イベントや講演会などの地域に根ざした取組みを実施することで、地域コミュニティの交流の場づくりを促進した。	1	地域教育協議会の様々な取組みを通して、地域への発信や啓発を推進する。
		農業体験を通して、農業の大切さや食に対する理解を深めるとともに、地域交流を推進します。	農林課	A	育てて食べよう野菜バリバリ推進事業（市内小学校3校にてさつまいも・大豆の栽培収穫） 学校教育田（市内小学校5校にて学校教育田を実施）	1	地域の農家等に協力をいただき、農業の大切さを学び、地域交流を推進。
17	読書環境の充実	子どもの豊かな情操や創造力、表現力を養うため、継続して読書環境の充実に努めていくとともに、学校図書館やボランティア、関係部署等との連携を強化します。	読書振興課	A	子ども向けの資料収集に努めた。 【児童図書年間受入点数：4,878冊】 子どもが読書に興味を持つきっかけになるよう継続的に資料展示を行った。 学校図書館への本の配送や朝の読書でボランティアによる読み聞かせを行った。	1	子どもの読書意欲が向上するよう今後も引き続き資料収集や展示を実施していくとともに、学校図書館やボランティア、関係部署との連携を図る。
		朝の読書をはじめ、各学校園における読書活動を推進し、子どもの感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにしていきます。	教育委員会指導室	A	市内全小中学校に学校図書館支援司書を配置し、読み聞かせや朝読書といった読書センターとしての機能を活用できるようにした。	2	全小中学校に学校図書館支援司書を配置し、教員や市立図書館と連携しながら、読書活動の充実に努める。

基本目標1 豊かな心と生きる力を育む人づくり

(A:計画通りに実行/B:一部実行/C実行していない)

(1:現状維持/2:拡大/3:縮小/4:廃止/5:その他)

事業No.	主要な施策・事業	施策・事業の内容	担当課	平成27年度取組内容（実績）や課題等		今後の実施内容（予定）や方向性等	
18	進路指導・相談の充実、心の相談	子ども一人ひとりの可能性や個性を伸ばせるように、キャリア教育を推進するとともに、子ども・保護者に対する教育相談体制の充実に努めます。	教育委員会指導室	A	進路担当者会議の開催 スクールカウンセラー派遣の充実	2	キャリア教育の推進 子ども・保護者に対する教育相談体制の充実
19	安全教育の推進	各校における危機管理体制の確立を進めるとともに、災害時に適切に対応できるように、避難訓練等の充実を図ります。	教育委員会指導室	A	火災・地震・津波等複合的な自然災害を想定した避難訓練を実施。子どもたちが自ら考え主体的に行動できるよう安全・防災教育について充実を図った。	2	大阪880万訓練、3・11等機会に触れ、防災教育を行い、各校の危機管理マニュアルについても定期的に見直しを図り、災害時に適切に対応できるよう努めていく。
20	教職員研修の充実	ICT機器の授業での活用について授業研究を行い、教員の資質の向上を図ります。	教育センター	A	情報教育担当者会を開催し、各学校においてICT機器活用の情報交換や研修を行うことで、子どもたちの情報活用能力を育成したり学習内容の理解を深めたりするための授業研究を実施した。	2	ICT機器の授業での活用について授業研究を行い、教員の資質の向上を図る。授業づくりにおいての大型ディスプレイを活用したわかりやすい授業等をテーマに研究を進める。
21	保育所、幼稚園、認定こども園と小・中学校の連携強化	児童・生徒が乳幼児とのふれあいを通し、子どもの人間関係の広がりや思いやりの心をもった豊かな人間性を育てるため、保育実習をはじめ異年齢交流を進めます。校種間連携を推進し、幼・保・小・中の一貫性、系統性のある教育を行うことにより、円滑な接続を図ります。	教育委員会指導室	A	各中学校において、キャリア教育として保育実習等に取り組んだ。小・中学校における幼稚園・保育園・認定こども園との交流も積極的に行い、段差解消に努めた。	2	9年間を見据えた小中一貫教育に加え、保育園・幼稚園・認定こども園との円滑な接続を図るべく、連携を進めていく。
22	校舎の改修や施設・設備のバリアフリー*化の推進	安全・安心な学校づくりを進めるため、順次、老朽か所の改修・バリアフリー化を検討・実施します。	教育委員会教育総務室	A	各校の現状を確認し、優先順位を付け計画的に施設改修を実施。併せてバリアフリー化を進めた。	1	継続して計画的に改修工事を実施し、併せてバリアフリー化を検討。また、大規模改修時にはエレベーター設置を検討する。

基本目標1 豊かな心と生きる力を育む人づくり

(A:計画通りに実行/B:一部実行/C実行していない)

(1:現状維持/2:拡大/3:縮小/4:廃止/5:その他)

事業No.	主要な施策・事業	施策・事業の内容	担当課	平成27年度取組内容（実績）や課題等		今後の実施内容（予定）や方向性等	
23	不審者対策等の推進	各小学校に設置された防犯カメラや正門電気錠を活用し、さらに正門に来校者受付員を配置するなど、不審者対策等を継続的に実施します。	教育委員会教育総務室	A	小学校において、防犯カメラ、非常通報装置、及び電子錠を整備。また、登下校時に安全対策員を配置。夜間については、機械警備を整備している。ただ、防犯カメラについては老朽化により再整備が必要である。	1	継続して各種の不審者対策を実施する。また、防犯カメラの再整備についても検討する。
24	学校・教育センターLAN構築事業の推進	画面転送機能を使いネットワーク間での遠隔操作が可能になったため、USBメモリの使用制限を行い、個人情報の漏えいを防ぎます。	教育センター	A	教育用PCネットワークとPC教室用ネットワークを統合し、教室等でPCを活用した授業を行った。	1	画面転送機能を使いネットワーク間での遠隔操作が可能になったため、USBメモリの使用制限を行い、個人情報の漏えいを防ぐ。
25	子どもの居場所づくり「放課後子ども教室」	小学生の放課後や週末の安全な遊び、生活の場を確保するため、地域住民の参画を得て、学習やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の機会を提供する放課後子ども教室を、市内すべての小学校区において、段階的に整備するとともに、仲よしクラブの児童を含めたすべての児童が参加できるよう努めます。	生涯学習課	B	平成27年度については、平成26年度に比べ実施校区は1校区増え、いずれの実施校区においても充実した活動を行えたものの、市内21小学校区中15小学校区での実施に留まった。	2	未実施校区の解消及び積極的に仲よしクラブと連携して活動することが必要であると考える。
26	青少年の家野外研修会の推進	青少年の生きる力を育むため、豊かな自然環境を生かし、体験学習の場を提供します。	生涯学習課	A	こどもアウトドア体験やファミリーデイキャンプ、アウトドアクッキングや自然観察会等、槇尾山の豊かな自然を生かした事業の提供を実施した。	1	引き続き、槇尾山の豊かな自然環境を生かし、体験学習の場を提供する。

基本目標1 豊かな心と生きる力を育む人づくり

(A:計画通りに実行/B:一部実行/C実行していない)

(1:現状維持/2:拡大/3:縮小/4:廃止/5:その他)

事業No.	主要な施策・事業	施策・事業の内容	担当課	平成27年度取組内容(実績)や課題等	今後の実施内容(予定)や方向性等
27	スポーツ・レクリエーション活動の促進	スポーツを通じて少年の心身の健やかな育成を図るため、スポーツ少年団への加入促進を図ります。また、親子のふれあいや地域での世代間交流を促進するため、親子ふれあい体験乗馬やニュー・スポーツ※の普及・啓発に努めます。	スポーツ振興課	A 泉北地区スポーツ少年団連絡協議会事務局が、「パフォーマンスアップや疲労回復に役立つ!簡単にできる筋膜リリース」の指導者研修会を行い、指導者の資質向上を図り、少年期の健全育成に取り組まれた。また、親子を対象に体験乗馬を杉谷馬事公苑にて行い、桃山学院大学と共催し、老若男女を対象とした「ふれあいニュースポーツ教室」を月1回実施。	1 スポーツ少年団への加入団体促進のための普及啓発に努めるとともに、乗馬を通じて、親子でスポーツに親しむ機会提供及び親子のふれあいの場の提供及びニュースポーツの普及啓発に努める。
		子どもの体力増進や交流を促進するため、各種スポーツ教室の開催・スポーツ・レクリエーション活動を進めます。	青少年センター	A スポーツ活動を通じて青少年の心身を健全に育成していくことを目的として事業を実施した。 実施回数 8回 参加者数 147人	1 今後も事業を継続する。 ※和泉躍進プランにおいて、施設の老朽化に伴う施設のあり方、サービス提供方法の検討が掲げられていることから、建物の耐震性、青少年センターのあり方や事業の精査、見直しなどを勘案し、検討を進める。
28	子どもすこやか広場事業の推進	近隣の小学校低学年児童の放課後及び長期休み期間の安心安全な居場所を提供することで、子育て支援を図ります。また、さまざまな活動を通して子どもの健全育成につなげます。	青少年センター	A 子どもの権利である遊びの尊重と保障に努め、学校、家庭以外での学びの機会と遊びの場を提供した。「遊び」を通じて子どもの生きる力の育成を図り、放課後や長期休みのおける子ども達の安全な活動機会の確保に努めた。 実施回数 244回 参加者数 7,614人	1 今後も事業を継続する。 ※和泉躍進プランにおいて、施設の老朽化に伴う施設のあり方、サービス提供方法の検討が掲げられていることから、本市の学童保育を取り巻く状況等を考慮した上で、青少年センターのあり方や事業の精査、見直しなどを勘案し、検討を進める。
29	青少年自学自習支援事業の推進	近隣の中学生の自学自習促進を図るため、主に学生ボランティアの協力を得て、「テスト前勉強会」を開催します。	青少年センター	A 中学生の学習意欲を高め、自学自習の促進を目指した。 実施回数 32回 参加者数 103人	1 今後も事業を継続する。 ※和泉躍進プランにおいて、施設の老朽化に伴う施設のあり方、サービス提供方法の検討が掲げられていることから、建物の耐震性、青少年センターのあり方や事業の精査、見直しなどを勘案し、検討を進める。

基本目標1 豊かな心と生きる力を育む人づくり

(A:計画通りに実行/B:一部実行/C実行していない)

(1:現状維持/2:拡大/3:縮小/4:廃止/5:その他)

事業No.	主要な施策・事業	施策・事業の内容	担当課	平成27年度取組内容（実績）や課題等		今後の実施内容（予定）や方向性等	
30	みどりのツーリズム事業の推進	日常生活の中でゆとりが少なくなりつつある都市住民に対して、農村地域において農作業の援農活動を行うことにより、農家と都市住民の交流の場を提供します。	農林課	A	ファームステイ事業 8名参加 和泉の農業を満喫しませんか（ウォーキング）53名参加	1	参加者の関心が多様化しているが、地域での対応が困難な状況である為、参加者の減少がみられる。平成28年度からは両事業とも民間委託で実施する。
31	和泉弥生ロマン・ツデーウォークの開催	和泉市の歴史や文化にふれるとともに、健康増進や世代間交流等の推進をめざしていますが、参加者が減少していることから、周知方法や内容の検討・充実、若者の参加促進を図ります。	商工労働室	A	参加者数：2,447人 初心者や若年層、親子にも、参加しやすい短距離コースを設け、市内各幼保園や駅前、他のイベント等でのPR活動を行った。有名スポーツ選手のゲストウォーカーの参加により、昨年度より参加者約200人増となり、促進に繋がった。	2	本市ウォーキングイベントは、ここ数年参加者は増加傾向にあるものの、少子高齢化もあり子供達（中学生以下）の参加が減少傾向にある。今後も参加増を目指し、コース内容や新たなPR方法等を検討する必要がある。
32	子どもの読書活動の推進	「第2次和泉市子どもの読書活動推進計画」に基づき、各種さまざまな行事・講演会等を開催し、体験の機会を提供していきます。	読書振興課	A	子どもたちに絵本の楽しさを伝え、地域に根付いた読書活動が図れるよう読み聞かせのボランティア入門講座を開講した。 子どもを持つ保護者を対象に、子どもの体と心の成長のために食育と絵本について考えてもらう講演会を開催した。 中高生を対象に、クラブ活動等で人気のある吹奏楽に関する講和を通して自身の将来を考えるきっかけをつくり、将来のことを調べるために図書館に興味を持ってもらえるよう講演会を開催した。	1	引き続き「第2次和泉市子どもの読書活動推進計画」に基づき、子どもが読書に親しむ環境づくりとして各種講演会を開催する。また、地域に根付いた読書活動を推進するための施策を検討する。
		幼稚園での絵本の充実、及び小・中学校における学校図書館を活用した読書活動の充実を図ります。	教育委員会指導室	A	市内全小中学校に学校図書館支援司書を配置し、教員と連携を図り、児童生徒にとって活用しやすい図書館経営を推進した。	1	全小中学校に配置している学校図書館支援司書と学校が連携を図り、児童生徒の図書館活用を促す中で、読書量（貸出冊数の増加等）の増加を図る。
		多くの子どもの豊かな情操や創造力・表現力を育むことができるように、絵本を充実し、保育所での貸し出しのみならず、在宅子育て家庭への貸し出しを行うなど、読書活動推進を図ります。	こども未来室	A	子どもの豊かな情操や創造力、表現力を養い、読書意欲の高揚を図るため、図書を充実し、司書ボランティア等の読み聞かせや研修を行った。	1	子どもの豊かな情操や創造力、表現力を養うため、各園で様々な読書活動に取り組む。図書を充実し、司書ボランティア等の読み聞かせや研修等も引き続き行う。

基本目標1 豊かな心と生きる力を育む人づくり

(A:計画通りに実行/B:一部実行/C実行していない)

(1:現状維持/2:拡大/3:縮小/4:廃止/5:その他)

事業No.	主要な施策・事業	施策・事業の内容	担当課	平成27年度取組内容（実績）や課題等	今後の実施内容（予定）や方向性等
33	図書館でのすくすくタイムの実施	和泉図書館で毎週金曜日の午前中を乳幼児と保護者のための時間として開放し、保護者同士の交流の促進や、親子連れで図書館へ足を運びきっかけを作ります。	読書振興課	毎月第1・第3金曜日の午前中に実施した。 【参加人数大人・子ども合計781人（1回あたり平均33人）】	2 これまでは和泉図書館のみで実施しており、参加状況も好評で定着しつつあるため、今後は他館でも実施していくことで親子連れでも気兼ねなく図書館を利用してもらえる環境づくりを推進する。
34	ワールドフェスティバルの開催等	和泉市に在住する外国人を中心としたイベントの開催を通じて、外国人市民とのふれあいなど多文化交流を促進します。	人権・男女参画室	A ●世界の国や地域の歌や踊りのステージ、料理や物販等の模擬店が出店し、市内外の外国人市民を含む大勢の参加者が集まって国際交流を楽しみ、絆を深めた。 ●27年度からは、弁護士等が通訳を介して相談に応じる「外国人のための1日相談サービス※」を同時開催。（※（公財）大阪府国際交流財団共催）	1 ●15回目の開催を迎え、市内外の外国人市民と共に多文化交流を楽しみ、ネットワークを築く一大イベントとして定着してきた。 ●より大勢の市民にご参加いただけるよう内容の充実に努めると共に、国際交流・多文化共生といったイベントの主旨に、地球環境保全というグローバルな視点も加えて、今後は意識啓発していく必要がある。 ●どこに相談に行けば良いかさえ分からずに困っている外国人市民のためにも、イベント会場内での「外国人のための1日相談サービス」を定着させ、周知に努める必要がある。 ●イベントの開催を通じ、外国人を含むすべての住民が地域の一員として互いに尊重しあい、民族や国籍の違いを認め合っるとともに生きる多文化共生のまちづくりに取り組む必要がある。

基本目標1 豊かな心と生きる力を育む人づくり

(A:計画通りに実行/B:一部実行/C実行していない)

(1:現状維持/2:拡大/3:縮小/4:廃止/5:その他)

事業No.	主要な施策・事業	施策・事業の内容	担当課	平成27年度取組内容（実績）や課題等		今後の実施内容（予定）や方向性等	
35	国際交流の推進	姉妹都市の米国ミネソタ州ブルーミントン市との交換学生の相互派遣やマラソンランナーの相互派遣、国際交流の推進とともに、市民ボランティアによる国際交流協会ニュースを発行します。	人権・男女参画室	A	<ul style="list-style-type: none"> ●ブルーミントン市の交換学生及びマラソンランナーを受け入れ、市内のご家庭にホームステイしながら市内各施設を訪れ、互いの文化の違いに触れながら多くの市民と交流を深めた。 ●「日本と世界の子どもの作品展」を開催し、友好姉妹都市の子ども達との絵画や書道作品の交換・展示により、芸術を通じた国際交流を行った。 	1	<ul style="list-style-type: none"> ●より多くの市民にご参加いただけるよう、国際交流に関する情報発信を積極的に行い、関係機関と協力し合いながら事業内容の充実に努める必要がある。 ●国際交流事業を通じ、文化の多様性に気づき国際交流に関する理解や関心を深め、国際感覚豊かなグローバル人材を育成する必要がある。
36	ふれあい広場の維持管理	各町会の要望をもとに、ふれあい広場の安全安心な維持管理に努めます。	スポーツ振興課	A	ふれあい広場の維持管理について各町会と連携をとり、地域交流の場を提供。	1	各町会の要望をもとに引き続き安全安心維持管理に努める。
37	水辺環境の整備	子どもが安全にまた、安心して水と親しむことができるように、地域の要望を踏まえた工事内容や工法の検討を行い、公民協働での維持管理を進めていきます。二級河川についても管理者である大阪府に要望していきます。	道路河川室	A	アドプト・リバー・プログラムの推進を行った。	1	今後も地域の要望を踏まえた整備内容や工法の検討を行い、公民協働での維持管理を進めていく。
38	図書館の利用促進	子どもが気軽に図書館を利用できるように多種多様な行事を開催します。	読書振興課	A	従来の定例行事だけでなく、指定管理者提案の季節に合わせた各種行事も積極的に実施した。	1	定例行事はボランティアの協力が不可欠であり、また指定管理者が自主事業として行う行事は工夫を凝らした提案によるものなので、引き続きそれぞれと連携を図りながら多種多様な行事を実施していく。
39	学校体育施設開放事業	子どもや親子がスポーツや運動に親しむことができるように、学校体育施設の開放を進めます。	スポーツ振興課	A	市内全小・中学校の運動場及び体育館を開放。	1	電気の消し忘れなど、利用における注意事項の徹底を図る。

基本目標1 豊かな心と生きる力を育む人づくり

(A:計画通りに実行/B:一部実行/C実行していない)

(1:現状維持/2:拡大/3:縮小/4:廃止/5:その他)

事業No.	主要な施策・事業	施策・事業の内容	担当課	平成27年度取組内容（実績）や課題等		今後の実施内容（予定）や方向性等	
40	集会所等の活用促進	地域住民の活動拠点である町会館等の整備に対して、助成金を交付するとともに、集会所等の活用を促進し、コミュニティの活性化を図っていきます。	公民協働推進室	A	平成27年度においては、9町会・自治会館改修や整備について助成金を交付し、集会所等の活用促進、コミュニティの活性化を図った。	1	次年度以降も、町会館等整備を助成することにより、集会所等の活用促進、コミュニティの活性化を図っていく。
		世代間交流等、身近な地域の老人集会所の活用を促進を図ります。	高齢介護室	A	地域の子供達と昔の遊びを通じて世代間の交流等を行い、集会所に安心して集まれるよう地域の住民との連携・協力を図り、集会所の活用を促進した。主要施設の70%以上に建設後30年以上経過している建物が存在しており老朽化が進んでいる。今後、維持管理や建替え等による施設更新が課題となる。	1	今後も老人集会所の活用を図っていく。また同時に施設の老朽化への対応も進めていく。
41	施設開放事業	安心・安全な交流の場や遊び場として気軽に利用できるよう施設利用を促進します。	青少年センター	A	青少年の交流の場や遊び場を確保し、子供達の安全安心な居場所として施設の開放を行っている。 実施回数 117回 参加者数 1,338人	1	今後も事業を継続する。 ※和泉躍進プランにおいて、施設の老朽化に伴う施設のあり方、サービス提供方法の検討が掲げられていることから、建物の耐震性、青少年センターのあり方や事業の精査、見直しなどを勘案し、検討を進める。
42	和泉市を知る機会の充実	地域に対する興味や関心を持たせ、郷土を愛する心を育成するため、副読本や市のホームページ等の活用を図ります。また、各種ニーズに向けた出前講座等の活用を図ります。	教育委員会指導室	A	小学校3年生社会科副読本「私たちの和泉市」の作成・活用。 中学校1年生社会科副読本「郷土の学習」の作成・活用。 文化芸術科学ふれあい体験事業の実施。	1	社会科の学習等を通じて、地域に対する興味や関心を持たせ、郷土を愛する心を育成する。
			生涯学習課	A	和泉市を知ろう！や和泉の歴史と文化財の実施希望が複数あり、出前講座の活用を図る事ができた。	1	引き続き継続していく。

基本目標1 豊かな心と生きる力を育む人づくり

(A:計画通りに実行/B:一部実行/C実行していない)

(1:現状維持/2:拡大/3:縮小/4:廃止/5:その他)

事業No.	主要な施策・事業	施策・事業の内容	担当課	平成27年度取組内容（実績）や課題等		今後の実施内容（予定）や方向性等	
43	子ども議会の開催	子どもの市政に対する意見表明や提言の機会として、子ども議会の開催充実を図ります。	教育委員会指導室	A	市内10中学校から各2人ずつ子ども議員を募り、子ども議会を開催。	1	今年度は、市内21小学校から各1人ずつ子ども議員を募り、子ども議会を開催する。
44	青少年の自主活動の支援	青少年の人権擁護を中心とした自主的な取組を支援するため、費用の一部を補助します。	青少年センター	A	青少年が自主的に企画する人権擁護を中心とした青少年の自主活動に伴う費用の一部を補助した。 補助金申請団体 3団体 補助金額合計 288,000円	3	平成28年度の補助金申請団体は、1団体のみで、市ではチョイズに申請できることから、今後、事業を縮小していく方向である。
45	青少年の学習や体験活動の機会の提供	青少年の学習意欲を高め、さまざまな学習や体験の場を提供するため、各分野の専門講師を招いて講座や教室を開催します。	青少年センター	A	①青少年が様々なことに興味を持てるように学習することを目的として開催した。書道教室96回実施 参加人数2,220人 施設見学 4講座 参加人数 113人 ②学校の長期休暇期間中（春・夏・冬休み）に各種講習講座を開催し、青少年の体験活動を推進した。 春のコースゼネレーション（前期） 実施回数 12講座 参加者数 243人 夏のコースゼネレーション 実施回数 36講座 参加者数 768人 冬のコースゼネレーション 実施回数 10講座 参加者数 216人 春のコースゼネレーション（後期） 実施回数 5講座 参加者数 108人	1	今後も事業を継続する。 ※和泉躍進プランにおいて、施設の老朽化に伴う施設のあり方、サービス提供方法の検討が掲げられていることから、建物の耐震性、青少年センターのあり方や事業の精査、見直しなどを勧告し、検討を進める。

基本目標1 豊かな心と生きる力を育む人づくり

(A:計画通りに実行/B:一部実行/C実行していない)

(1:現状維持/2:拡大/3:縮小/4:廃止/5:その他)

事業№	主要な施策・事業	施策・事業の内容	担当課	平成27年度取組内容（実績）や課題等		今後の実施内容（予定）や方向性等	
46	青少年リーダーの育成	青少年の人権意識の向上と職業観育成を図るための講習講座を開催します。	青少年センター	A	「人権・防災・平和・環境」を身近なこととして捉える講習講座を開催し実施 回数 11回 参加者数 98人	1	今後も事業を継続する。 ※和泉躍進プランにおいて、施設の老朽化に伴う施設のあり方、サービス提供方法の検討が掲げられていることから、建物の耐震性、青少年センターのあり方や事業の精査、見直しなどを勘案し、検討を進める。
		青少年同士の交流や活動を促進するため、ジュニアリーダー講習会等を充実します。	生涯学習課	A	ジュニアリーダー講習会を実施しても、次世代リーダーが今後不足する可能性が高い	2	高校生～大学生増えるよう、また継続活動がしやすいよう活動方法検討。
47	子ども会活動の促進	子ども会への加入者数・事業の参加者が減少しているため、活動をPRし、加入者の拡大に努め、青少年の健全育成を図ります。	生涯学習課	A	加入者、事業参加者の減少。 役員のなり手不足	1	保護者にも活動に参加してもらいやすい事業を実施し子どもとともに活動ができる環境をつくる。
48	乳幼児とのふれあい体験の充実	青少年と乳幼児とのふれあいの機会を増やすため、中学生による保育実習や職場体験学習の受け入れ等地域での異年齢交流機会の拡大を進めます。	子ども未来室	A	中学校の保育実習・職場体験を受け入れ、異年齢交流の推進を行った。中学校区で取り組まれている行事にも積極的に参加した。	1	青少年と乳幼児とのふれあいの機会を増やすため、中学校における保育実習の実施、職場体験学習の推進や地域での異年齢交流機会の拡大を進めます。
		保育所における中学生の保育実習や職場体験学習を実施するため、保育所、幼稚園等校種間及び地域連携の充実を図ります。	教育委員会指導室	A	保育所、幼稚園等における職場体験学習を実施。	1	職場体験学習等を通じて、保育所、幼稚園等校種間、地域連携の充実を図る。
49	市政に対する関心の喚起	子ども議会やホームページ等を活用し、市政に対する子どもの関心の喚起に努めます。また、和泉市のまちづくりや地域の現況と課題などについて、子ども議会等で学習の機会を提供していきます。	教育委員会指導室	A	市内10中学校から各2人ずつ子ども議員を募り、子ども議会を開催し、市政に対する提言を行った。	1	子ども議会等を通じて、子どもの市政に対する提言の機会の充実を図る。

基本目標1 豊かな心と生きる力を育む人づくり

(A:計画通りに実行/B:一部実行/C実行していない)

(1:現状維持/2:拡大/3:縮小/4:廃止/5:その他)

事業No.	主要な施策・事業	施策・事業の内容	担当課	平成27年度取組内容（実績）や課題等		今後の実施内容（予定）や方向性等	
50	将来を見通した生活設計ができるような教育の推進	教員対象のキャリア教育研修の充実とともに、キャリア教育指導計画の見直しを進めます。	教育委員会指導室	A	教員対象のキャリア教育研修の実施	1	キャリア教育研修の充実、中学校区ごとのキャリア教育全体指導計画の見直し、改善
51	進路指導体制の充実	進路担当者会議において、適切な情報提供を行い、担当教員の資質向上を図ります。	教育委員会指導室	A	月に1回進路担当者会を実施した。	1	月に1回の進路担当者会議を開催し、進路に関する適切な情報提供を行い、教員の資質向上を図る。
52	職場体験学習の推進	中学校における職場体験学習を推進するため、職場体験事業所の確保を図ります。	教育委員会指導室	A	庁内の各課と連携し、市役所内や大型商業施設での職場体験を実施した。	1	今後も市役所内、市内大型商業施設での職場体験の日程及び人数調整等を行い円滑な実施を図る。
53	職業能力の向上	若者の就労促進や自立した生活を支援するため、南大阪若者サポートステーション*との連携を強化し、事業を推進していきます。また、若者支援事業講習会の内容充実を図ります。	商工労働室	A	南大阪若者サポートステーションとは対象者がいた際に担当者との連携のうえ、支援しています。また、若者支援事業講習会については平成27年度は「若者支援セミナー」と銘打ち10回開催し、90名の方に参加いただきました。	1	今後より一層の増加が見込まれる若者の非正規雇用や無業者等を支援すべく、若者支援セミナーを更に充実させるとともに、南大阪若者サポートステーションとの連携についても、より一層の強化を図ってまいります。
54	障がいのある若者の就労支援	障がいのある若者の就労を促進するため、泉州北障害者就業・生活支援センターの周知を進めるとともに、連携を強化し、事業を推進していきます。	商工労働室	A	泉州北障害者就業・生活支援センター周知のため、市ホームページへリンクを貼るとともに、平成27年度は9月と2月に開催した和泉市就職情報フェアにおいて協賛・協力にて、障がい者就労支援相談を実施致しました。	1	泉州北障害者就業・生活支援センターとの連携及び周知について、これまで以上に強化するとともに、就労支援業務では、障がい者求人についても取扱うことで、障がい者の方への支援を強化してまいります。
55	将来に向け自分を見つけるための情報提供	中高生が進学・就職のために役立つ情報や自分を見つけるためのきっかけづくりができるよう、図書館にティーンズコーナーを設置し中高生向け資料の充実に努めます。	読書振興課	A	中高生向けの資料収集に努めた。 【ティーンズ資料年間受入点数：462冊】	1	引き続きティーンズコーナーの資料の充実に努める。